

## 1 研究主題

情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践

－教育の情報化の推進を通して－

- (1) 高度情報通信社会に主体的に対応できる情報活用能力の育成
- (2) ICT を活用した学習指導の工夫・改善
- (3) 教員の ICT 活用指導力の向上

## 2 研修内容

- (1) 日 時 平成 27 年 7 月 27 日 (月) 9:00 ～ 12:00
- (2) 場 所 明浜小学校コンピュータ室
- (3) 内 容

### ア 講義・演習「タブレットパソコンの活用法」

講師 国広 達也 様

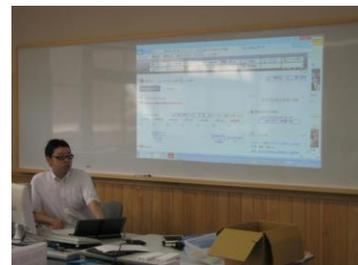
iPad を授業中のどのような場面で活用するかをテーマに研修を行った。専用の教育ソフトが多くあり、ドリル的な活用ができる。また、デジタルカメラやビデオ機能を利用することにより、体育の技能の向上や理科の観察・実験の記録などにも活用できる。さらに Apple TV を利用すると、ワイヤレスでプロジェクタで画面を映すことができる。



### イ 講義「西予市グループセッションについて」

講師 国広 達也 様

本年度より導入されたグループセッションにより、各学校の事務の効率化が期待されている。ショートメール、掲示板、Web メールなどの多彩な機能の活用法を研修することにより、校内だけではなく、西予市の学校間での情報の交流も活発になると思われる。



### ウ 講義「セキュリティについて」

講師 久保田 温 教諭

新型のコンピュータウイルスが発生していることを考慮して、USB メモリーなどの記憶媒体の校内での管理の仕方や定期的な OS やウイルスチェックソフトのバージョンアップ等の研修を行った。



### エ 実技研修「デジタルペン授業支援ツールの活用について」

講師 ダイワボウ情報教育システム 職員

授業で使えるデジタルペンの研修を行った。このペンの最大の特徴は、ペンの中に超小型カメラが内蔵されており、専用紙に書くことにより、ワイヤレスでコンピュータに転送される。児童・生徒が書いている内容がそのまま映し出されるので、指導の効率化が図れたり、児童間の話合いにも活用できたりすると思われる。



## 3 今後の課題

児童一人1台のタブレット端末を導入している学校がある。しかし、きちんと活用するためには、教師が使用方法をかなり理解しておく必要がある。また、導入されるタブレット端末も学校現場と自治体の意見が食い違っていない。そのためにも、これからも研修を積み重ね、児童・生徒の学習のために役立てるようにしたいと考える。